

その3：教育編

その2に引き続き活動分野ごとの主な活動についてご紹介します。

今回は「教育編」として大学講座・社会人講座グループ、小中高校国際理解教育グループそれぞれのコーディネーター（CN）に伺いました。

■大学講座・社会人講座グループ

1. 大学講座・社会人講座とは？

ABICの活動の一つとして、大学、大学院、社会人講座機関などへ、国際ビジネス経験豊かなABIC会員による講座を提供しています。ABIC設立当初から活動を開始、現在では約40大学・機関に拡大、約70講座を本部では4人のCNが分担して運営しています。

2. ABICが提供する講座の特徴は？

講師としての活動を希望する会員の得意分野、専門性を生かして、主に国際ビジネス関連の海外地域論や産業論を展開しています。一つの講座を数人の講師が得意な分野ごとに1-4回程度の講義を受け持つオムニバス方式でつないでいく形が特徴的です。さらに、近年は留学生向けや日本人学生のクラスにも英語による講義の依頼が増えており、英語のみの講座はもとより、同じ内容の講義を英語と日本語の2クラスで講義をすることも行っています。

3. CNの仕事は？

CNの主な業務は、大学や主催者側の要望を基にした講座の組み立ての提案と、講座を担当するABIC会員への講師依頼を行います。また、大学からあらかじめ提示があったシラバスの内容にふさわしい会員をそろえたり、大学の先生の講座を補完するゲスト講師として会員を紹介したりすることが挙げられます。

具体的な内容として、大学との協議、講師候補者との打ち合わせ、大学への講師登録作業、講義日程調整、講義テーマおよび内容の策定、シラバス作成、各講師の講義内容等チェック、講師間連携作業、出講日リマインド、成績評価取りまとめ作業等があります。

また会員が大学講師として登壇いただく前に、毎年大学講師勉強会や英語で授業するための勉強会を開催しています。

4. CNのやりがいは？

実務家教員としての大学教育への貢献と同時に、講義を担当いただくABIC会員に貴重な社会貢献の場を提供していることです。講師を体験された会員の方々からの感謝の言葉を聞くこともやりがいとなっています。講師を経験した多くの会員から、自身の専門性や経験を棚卸しする良い機会となり、改めて資料収集や図書館に通って勉強することができたと喜びの声を聞いています。

■小中高校国際理解教育グループ

1. 小中高校での「国際理解教育」とは？

2001年度から小中高校で始まった国際理解教育の時間に、学校からの要請に応じ、海外勤務経験豊かな会員を講師として派遣して、各国事情や異文化について児童・生徒に分かりやすく紹介する活動を続けています。最近では東京都が推進するオリンピック・パラリンピック教育の一環で、小学校からの連絡を受け、日本にはなじみの少ないような国々、例えばリベリア、アゼルバイジャン、パラグアイなどの紹介をするため、会員の中から講師を探し出して派遣したりしています。小中学生向けの授業は、内容・時間・話し方等、大学や社会人向けの講義・講演とは異なった難しさがあるので、講師とは事前に十分な打ち合わせを行うことにしています。また、今や小学校でもPPTを使った講演は当たり前になっているので、PPT作成経験のない会員には事務局で画面作成の協力をしています。

横浜商業高校には2001年の国際学科新設以来、天津市立粟津中学校（関西デスク担当）には2002年から継続して国際理解の授業に講師を派遣し、世界の国・地域についての講座を担当しています。

2. 外国籍児童・生徒および帰国子女への支援とは？

増えつつある在日外国人の小中学校編入生や帰国子女に対し、ABICの日本語教師養成講座を修了した会員が日本語学習や生活適応の支援に当たっています。現在は多摩市および新宿区と提携しています。特に日本語のほとんどできない生徒に対しては、生徒の母国語が話せ、当該国に駐在もしたことがある会員を選定し支援員に充てます。生徒の方は、授業がほとんど理解できず、遊びやふざけ方の習慣も異なるため、思わぬトラブルも発生したりしてストレスがたまり、学習支援の冒頭に、母国語で不満や悩みをぶちまけるようなことがよくあります。それをじっくり聞いてあげることで、生徒も落ち着き、信頼関係も醸成されることとなります。会員の方も、自分の孫に接するような愛着を持って取り組んでいます。

児童・生徒の国籍は、中国、韓国、フィリピン、ネパール、モンゴル、ブラジル、パラグアイ、米国、エジプトなど多様です。

小中高校国際理解教育
(お問い合わせ先)
krikai@abic.or.jp



大学講座・社会人講座
(お問い合わせ先)
univ@abic.or.jp

大学講座・社会人講座G：前列右から猪狩CN、
恩田CN、後列右から増井CN、坂野CN
小中高校国際理解教育G：後列左 宮内CN